MITSUBISHI 三菱電機 産業用 パッケージエアコン

販売店・工事店さま用

PET-J190・250・375DA1

据付工事説明書

本説明書は室内側ユニットの据付方法を記載してあります。
室外側ユニットの据付方法は、室外側ユニットの据付工事説明書に記載されております。

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠ 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

台風などの強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、事故の原因になります。

空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒーター等の別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改造は絶対にしないでください。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行ってください。
据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

室外ユニットの端子台カバー（パネル）を確実に取付けてください。
端子台カバー（パネル）取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災、感電の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒（R22）以外のものを混入させないでください。
空気などを混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

小部屋へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けをする前に

⚠ 注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。
油・蒸気の多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。また、有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。
食品の品質低下等の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けないでください。
湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠ 注意

アースを行ってください。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。

電源配線は張力がかからないように配線工事をしてください。
断線したり、発熱・火災の原因になります。

正しい容量のブレーカー（漏電遮断器・手元開閉器〈開閉器＋B種ヒューズ〉・配線用遮断器）を使用してください。
大きな容量のブレーカーを使用すると故障や火災の原因になります。

製品の運搬には、十分注意してください。
20kg以上の製品の運搬は、１人でしないでください。
製品によってはＰＰバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
包装用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故等の原因になります。
室外ユニット等吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に４点支持で実施してください。３点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けが等の原因になります。

エアコンを水洗いしないでください。
感電の原因になります。

電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

電源配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。
漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。
配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

ドレン配管の断熱は結露しないように確実に行ってください。
不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。
梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのけがをするおそれがあります。

冷媒配管は結露しないように確実に断熱処理する。
不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

据付場所の選定

- ●吹出空気が部屋全体に行き渡るところ。
- ●侵入外気の影響のないところ。
- ●吹出空気、吸込空気の流れに障害物のないところ。
- ●油の飛沫や蒸気のないところ。
- ●可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのないところ。
- ●高周波を発生する機械のないところ。
- ●吹出口側に火災報知器（センサー部）が位置しないようにしてください。
  （暖房運転時に吹出温風により火災報知器が誤作動するおそれがあります。）
- ●酸性の溶液などを頻繁に使用するところは避けてください。
- ●特殊なスプレー（イオウ系）などを頻繁に使用するところは避けてください。
- ●腐食ガス、有機溶剤の雰囲気での使用は避けてください。
- ●設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気口等を設けてください。

注意	室内ユニットを天井内に据付けてダクト接続した場合、天井内が高温多湿になりますと室内ユニットに着露することがあります。天井内の空気条件が、相対湿度85%または、露点温度23℃(※1)以上になる場合には、天井内の空気と室内空気を循環させて、それ以下に下げる、もしくは天井内空気条件に合わせて室内ユニット表面の断熱強化を実施してください。 ※1）中温・高温仕様でご使用の場合は露点温度が25℃となります。

試運転をする前に

⚠ 注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。
故障の原因になります。
シーズン中は電源を切らないでください。

運転中にパネルやガードを外したまま運転をしないでください。
機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、火傷や感電によるけがの原因になります。

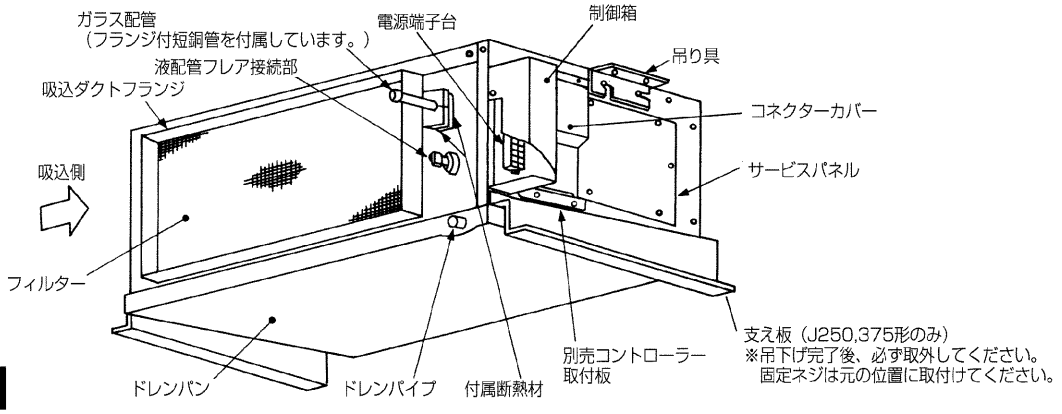
運転中の冷媒配管に素手で触れないでください。
運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷になるおそれがあります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

エアフィルターを外したまま運転しないでください。
内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。
必ず５分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。

各部の名称



付属品の確認

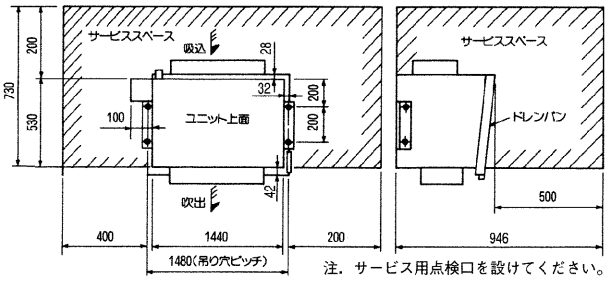
この室内ユニットには下記の部品が付属されていますので、ご確認ください。

①フランジ付短銅管	②パッキン	③キャピラリーチューブ	④断熱材	⑤断熱材
1個	1個		1個	1個
上図のように本体にフランジ接続してください。			上図のようにフランジ部の断熱にご使用ください。	

ユニットの必要周囲空間

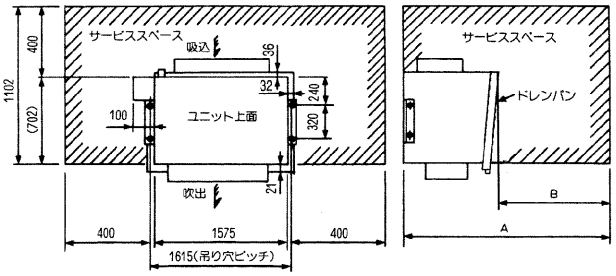
	A	B
PET-J250DA1	1224	600
PET-J375DA1	1426	700

●PET-J190DA1 (単位mm)



注．サービス用点検口を設けてください。

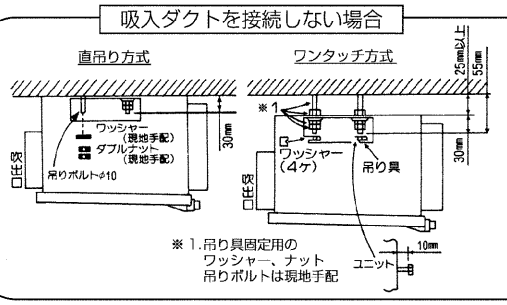
●PET-J250,375DA1 (単位mm)



室内ユニットの設置

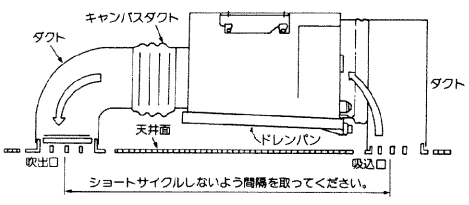
●吊りボルトのピッチを確認してください。
●吊りボルトはφ10を使用してください。(4本現地手配)
●吊りボルトの長さを厳守してください。(右図参照)
●ユニットを吊りボルトに合わせて持ち上げワッシャー、ダブルナットにて固定してください。(直吊り方式)
●吊り具をあらかじめ吊りボルトに固定した後、ユニットを吊り具に掛け、ワッシャー、ユニット本体のボルトにて固定してください。(ワンタッチ方式)
●ユニットが水平に吊り下げられたことを確認してください。
●据付後は支え板を必ず取外してください。(J250,375形の場合)
固定ネジは元の位置に取付けてください。

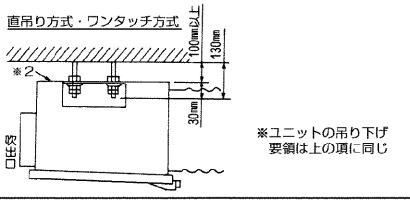
吸入ダクトを接続しない場合



吸入ダクトを接続する場合

●ダクトの接続にはユニットとダクトの間にキャンバスダクトを入れてください。
●ダクト部品には不燃性材料を使用してください。
●吸入ダクトフランジ、吹出ダクトフランジ、吹出ダクトは結露防止のため十分な断熱を行ってください。
●本体付属のエアフィルターは取外して、別に吸込グリル側にエアフィルターを準備してください。

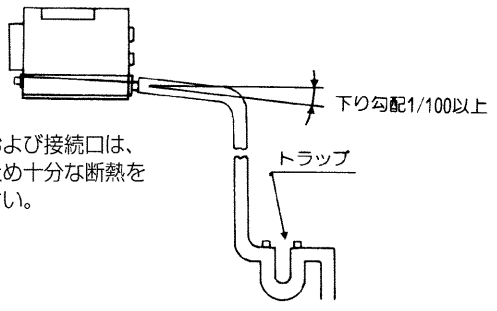




※ユニットの吊り下げ要領は上の項に同じ

ドレン配管

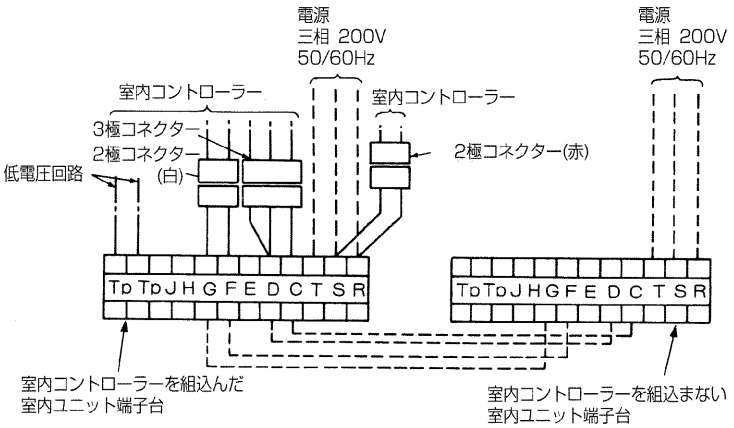
●室内ユニット本体のドレン出口は1インチのオネジになっています。
●ドレン配管はトラップを設けてください。
トラップのない場合、下水の臭気、有毒ガスを吸うことがあります。
●ドレン配管は排水が良好に行われるよう傾斜をつけてください。
●配管後、排水が良好に行われることと水漏れのないことを確認してください。



●ドレン配管および接続口は、結露防止のため十分な断熱を行ってください。

電気配線

室内ユニット端子台の電気配線要領を下図に示します。
システム全体の電気配線要領は室内コントローラー付属の説明書を参照してください。

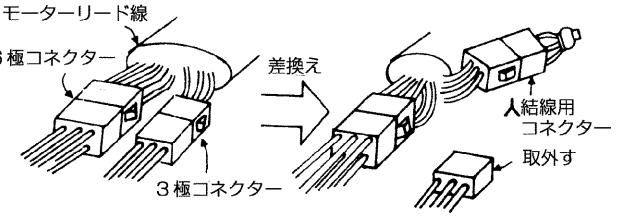


- ●実線で示す配線は、室内ユニット制御箱に付属しています。
- ●一点鎖線で示す室内コントローラーへの配線は、室内コントローラーに付属しています。
- ●破線で示す配線は、現地手配です。
- ●室内ユニット端子台「Tp」へ接続する配線（2本）は、低電圧回路です。
  電気ノイズを受けないように他の200V回路の配線と離してください。

電気特性		PET-J190DA1	PET-J250DA1	PET-J375DA1
電源		三相 200V 50/60Hz		
定格出力	W	880	1500	1800
入力	W	1190/1500	1330/1680	1830/2310
電流	A	4.0/4.4	5.3/5.9	8.2/9.0
電線太さ	mm	2.0		
接地線太さ	mm	2.0		
開閉器容量	A	15		

静圧変更

送風機電動機はΔ結線が標準です。
Y結線でご使用される場合は、コネクターカバーを開け(ネジ1本)、6極コネクターと3極コネクターを取外して、付属のY結線用コネクターと差換えてください。



キャピラリーチューブの取付け

下図に示す組合わせでご使用の場合は、膨張弁の容量を補うため付属のキャピラリーチューブを接続する必要があります。
それ以外の組合わせおよび使用温度では、取付けないでください。
なお、機種によりキャピラリーチューブのサイズが異なりますので、キャピラリーチューブと本体の表示色が同じことを確認して取付けてください。

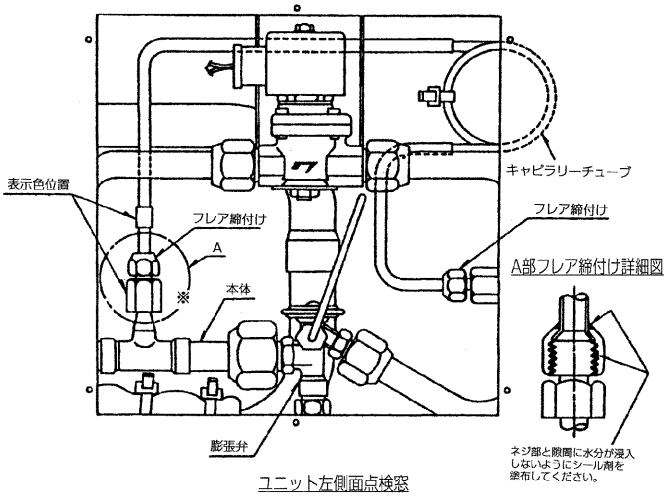
●付属キャピラリーチューブ取付必要組合わせおよび使用温度

室外ユニット容量	室内ユニット合計容量	使用温度(吸込温度)
5馬力	4馬力以下	乾球温度20℃以上
8馬力	5馬力以下	
10馬力	8馬力以下	
15馬力	10馬力以下	
20馬力	15馬力以下	

機種	表示色
PET-J190DA1	黒色
PET-J250DA1	緑色
PET-J375DA1	赤色

●室内・室外ユニット各形名の馬力一覧表

馬力(HP)	2	3	4	5	8	10	15	20
室内ユニット	PCT-J48	PCT-J71	PCT-J95	PCT-J125	PET-J190	PET-J250	PET-J375	—
室外ユニット	—	—	—	PUTF-J125	PUTF-J190	PUTF-J250	PUTF-J375	PUTF-J500



注. ※印のフレア部は凍結によるフレア抜け事故防止のため、上図のようにシール剤(現地手配)を塗布してください。
推奨シール材：ロックタイトNo.225

三菱電機株式会社
〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04525X01